

U-20 女子ワールドカップ 広島開催 (2012年8月)

* 広島予選リーグ参加国 : アメリカ、ドイツ、中国、ガーナ



USA チーム 慰霊碑に献花
(USA チームから見学希望あり)

原爆資料館を熱心に見学



ドイツチーム慰霊碑献花
(ドイツにて事前学習をして訪問)

レガシープログラム ～U20女子ワールドカップにて同時企画～

『単に大会を開催して終わりではなく、その後に残る発展・普及を財産（＝レガシー）として残していく為の取り組み』

<企画内容>

- ①大学生ボランティアとの交流事業（大会運営、CSR 関連、平和関連）
- ②中学生年代を中心としたフェスティバル、サッカー教室の開催
- ③高校生年代を中心としたサッカーフェスティバルの開催
- ④保護者・指導者向けの講習会及び審判講習会の開催

（交流事業の主な内容）

■折り鶴プレスレットの作成

広島市に集まった折鶴再生紙を利用し、広島で試合を行う各国（4か国）の国旗の色をモチーフとしたプレスレットを作る。それを付けて来場者に応援していただく。

■手作りうちわ作成

折り鶴再生紙を使用したうちわを作成。

■出場国に因んだ料理で応援

各国に因んだオリジナル料理を考え、大会の気運を盛り上げる。

■文化祭ステージ

高校生、大学生がステージ発表を行い、広島から日本若者の活動を発信。

■メッセージボード作成

折り鶴再生紙を利用したメッセージボードを作成し、来場者によるメッセージの記入。

■1000パスる

大会ロゴマークの折鶴、スタジアムを飾っている千羽鶴にちなんで大会公式球を使って、みんなで1000本のパスをつなぐ。復興への想いも込めてつなぎ、使用したボールは被災地へ送る。

■キックターゲット

キックターゲットでボールに触れる楽しさを感じてもらう。

■ミニカフェ

広島経済大学の学生が運営しているカフェが出店。オリジナルドリンクなどを提供。



合計 33,000 羽の折り鶴

（児童・生徒・学生・スタッフの想いが詰まっています）



チーム練習後、折り鶴のレイを贈呈



なでしこ選手によるサッカー教室



ガールズフェスタ



1000本パスる イベント



手作り応援うちわ作成



文化祭ステージ



出場国に因んだケーキを作製



サンフレッチェ試合会場でも折り鶴作成

USA 優勝！ 全国からの千羽鶴をバックに、広島贈呈の“折り鶴レイ”を選手たちが自主的にかけ、平和の発信と、広島予選でのホスピタリティへの感謝を表していただきました。